

平成30年度 第1回 大阪府立かわち野高等学校 学校運営協議会議事録

日時：平成30年7月3日（火） 15時30分～16時50分

場所：アクティブラーニングルーム

1、参加者

委員：5名 事務局：11名

2、会長等選出

- ・委員互選により会長、副会長を選出

3、報告

- ・学校概要・教科書選定について

4、協議

＜平成30年度学校経営計画について＞

- ・授業改善の取組（パッケージ研修の実施・推進）について詳しく説明してほしい。
→教科を決めて実施。教員向けの研修を行い、アクティブラーニングを実施した授業展開を示す。それを用いて生徒をどう評価するのかを具体的に検討していく。
- ・部活動についての取組を教えてください。
→当校は、府内10校に配置される部活動指導員活用の配置校として選ばれ、今後活用していく予定。
→各学校で競技の専門性を持つ職員をバランスよく配置することはトライシステムなどを活用しても改善は難しい。
- ・めざす学校像と中期的目標がどうリンクして、各分掌や学年の目標に反映されているのか。
→学校全体で対応するので目標を各分掌に振り分けているわけではない。中期的目標は3年間の目標なので、この全てが今年度の分掌や学年の目標となるものではない。
- ・普通科総合選択制から専門コース設置の普通科への変更に伴う教員配置への影響は。
→平成31年度末までには、普通科総合選択制加配分は減員となる。
- ・SSWや人材バンクの活用について。
→大学との連携を密にして交流を深めて、進路意識の更なる向上を図る。
- ・インターンシップの受け入れについて
→将来の就職への意識向上のため、ガイダンス部において実現に向け検討を始めている。

<委員からの意見・提言等>

- ・地域に根ざした学校づくりのために、今後、かわち野のめざすところを広報、アピールしていくことが重要。
- ・保護者同士、保護者と学校の連携を拡大していける工夫をして欲しい。
- ・地域の企業と連携して、働く現場を体験することは重要。
- ・部活動指導のできる教員の配置についても可能な限り努めていただきたい。
- ・人事については、教員の気持ちを汲み取りながら進めていって欲しい。
- ・各学年の目標を3年間見据えて年度ごとの具体的計画をさらに明確に提示してほしい。